



みみより

80

発行日/2025年8月25日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info

ごあいさつ

徳谷 令子

毎日、暑い日が続きますが、お変わりないでしょうか？

気象庁の定義では、最高気温が25度以上の日を「夏日」。30度を超える日を「真夏日」としています。熱中症のリスクが生じ、暑さ対策も必要になります。昔は35度を超えるような日は少なかったのですが、近年は35度を超える日が当たり前になっています。2007年から35度を超える暑さを「猛暑日」という気象用語ができました。日中に長時間屋外にいることが危険な暑さ、エアコンなしの室内でも熱中症のリスクが高くなるほどの暑さです。



他にも「熱帯夜」は夜間の最低気温が25度以上の日。エアコンがないと寝られませんね。地球温暖化の影響で、どんどん気温が上昇しています。国内で40度以上の日がこの20年で大幅に増え、2022年には初めて6月に40度以上を観測。今年の夏も北海道で40度を超えるなど、各地で厳しい暑さが続いています。日本気象協会では2022年8月より40度を超える日を「酷暑日」、夜間の最低気温が30度以上の夜を「超熱帯夜」としました。これからもどんどん暑くなっていけば、また新しい用語ができるかもしれません。みなさん暑さ対策を忘れず、この夏を乗り切りましょう！

開催事業報告



《みみサロン》

7/19(土)はトルコのサムスン2017デフリンピックの4×100mリレーにて金メダルを獲得した三枝 浩基氏をお迎えし、これまでの経験と現在の活動をお話いただきました。37名の参加者でした。生まれつききこえない三枝さんですが、きこえない家族・友人達と過ごしたこともあり、のびのびと育ち、積極的でスポーツ好きなこどもだったそうです。何よりもコミュニケーションを大切に、学生時代のクラブ活動等も、現在の学生への陸上指導や広告業界でのお仕事も、人との関わりと支え合いで目標達成ができていくことを強く感じているというお話でした。



デフアスリートは、スタート時のピストルの音がきこえないので、「スタートランプ」という光を使った装置を足元に置き、それを見てスタートを切ります。色はメーカーによって違いがありますが、例えば「On your mark(位置について)」で赤、「Set(用意)」で黄、「Go(スタート)」で緑、のように示しています。他にも、審判の笛とともに旗を上げる等、きこえない選手に合わせて視覚を活用した方法を教えていただきました。フレッシュなアスリートと記念撮影したり、金メダルに触らせてもらったり…講演終了後も熱気がなかなか収まらない会場でした。

今年11月から東京で開催されるデフリンピックは日本での開催は初めてのこと。しかも始まって100年という記念すべき年です。中継はYouTubeで配信されます。世界中のデフアスリートが日本に集結します！選手の活躍はさることながら、各国の手話表現も興味深いものがあります。とても楽しみです。

TOKYO2025
デフリンピック
YouTubeチャンネル
こちら→



《保護者学習会 & 中高生セミナー》



「きこえない・きこえにくいこどもの保護者学習会」は、毎年1回目は大学生に講師依頼し、体験を話してもらっています。保護者に対しては、おとなになった今だから伝えられる気持ちや葛藤、要望を聞いてもらい、中高生には受験に向けての情報を知ってもらう機会としています。今回は、補聴器や人工内耳を装着して地域の学校

に通い、大学生となった3名に話をさせていただきました。

それぞれ、聴力は違いますが、共通するのは「耳だけできく」ことの困難です。人工内耳で聴力が回復しても難聴は残ります。体調によってきこえが落ちたり、きくことに疲れてしまったり。そこで、小学生のころから自分のきこえやすい座席を用意してもらい、ロジャーマイクを使ってもらいなどの工夫してこられたそうです。もちろん、小学生のころから自分で先生と相談ができたわけではなく、初めは先生が考えてくださったり、保護者と先生が相談したりして積み重ねていったわけですが、大学に入学するにあたっては、受験段階から大学側と話し合いを重ね、自分に必要な配慮を得て、現在も学びを深めています。例えば、英語のリスニングは難しいので免除してもらい。ただし、その分はライティングの点数を2倍で計算するなどの代替手段で行われることが多く、やはり英語の勉強はしっかりしたほうが良い、という具体的なアドバイスもいただきました。

また、友人やアルバイト先にも自分の「きこえ」をきちんと理解してもらい、学生生活を楽しんでおられるようでした。高校生からは「友達を作るコツを教えてください」という切実な質問もありました。いろいろなイベントに積極的に参加する、自分から周囲の人に話しかけ、耳のこともわかってもらう、という回答がありました。

相手に理解や配慮を求めるには、まず、自分が自分の「きこえ」のことを知っておく必要があります。きき取りやすい方向、声質があるのかどうか。座席は前のほうが良いのか、全体の様子が見える場所が良いのか。FM等のマイクは合うのか、合わないのか。手話や文字での通訳はあったほうが楽なのかどうか。中学生・高校生のうちに周囲のおとなと一緒に相談し、試してみる。合わなければ別の方法を試みる。という積み重ねが「自分のことを説明する」力につながります。

今回、資料として「聴覚障害学生+サポートブック -18歳から学ぶ合理的配慮- (国立大学法人筑波技術大学)」をご紹介します。配慮を求めるにあたっての法律や制度を学び、自分の要望を整理するのに役立つワークブックです。右の二次元コードからご覧いただくか、センターにも置いてありますので、ぜひ、参考にしてくださいね。



《もじサロン (筆談会・わいわいおしゃべり会)》



すでに真夏のような暑さがやってくる
6/21(土)、要約筆記を利用したおしゃべり会
を開催、5名の方が参加してくださいました。
進行役はLink代表の大坪健二さん。難聴当事
者で、お住まいの地域でも活動されています。



参加者には中途失聴者で片耳だけの方、両耳の方、生まれつきの難聴者と「難聴」といっても、きこえの状態や、困りごと、補聴器を使う・使わないは様々です。自己紹介でお互いの距離が少し近づいたところで、「片耳難聴って想像がつかないけど、どんな感じ?」、「きこえにくいことは伝えていても相手がそれを忘れていたり、皆どうしている?」などの質問が出ました。相手の表情がすごく気になってしまうのは参加者全員が感じていることで、大きな頷きのウェーブになっ

ていました。きこえが落ちる不安の中、手話を習得したいという話も。きこえる人の中で、なんとか「きき漏らさずきこう！」と神経を尖らせ、力んでいる難聴者の「ほっ」と息抜きができる場になりました。

7月は3名で筆談会。友人と電話でのおしゃべりが楽しみのひとつなのに、聴力が落ちており、きこえづらくなってきて辛いと話されました。文字おこしアプリや、相手の声が文字で読める電話「ヨメテル」など便利なサービスは選べるほど増えてきました。ただ、それらは全てインターネットやスマホを使うもの。なじみのない方には新しいモノを生活に取り入れるのは負担のかかるものですよ。しんどいことはしばし棚上げにし、話題を変えて「令和の米騒動」の話へ。ご両親の代からお付き合いのあるお米屋さんがある方がおられました。「どこにあるの?」「個人商店?」など、質問攻めにされていました。最近では個人商店自体がめっきり減っていますよね。量販店しか利用しない職員には羨ましいお話でした。

「軟骨伝導集音器」寄贈いただきました



音が伝わる経路には、空気の振動による「気導」と頭蓋骨から伝わる「骨導」があり、それぞれを活用した補聴器や集音器が作られてきました。これらに加え、2004年に奈良県立医科大学耳鼻咽喉科学の細井 裕司教授により発表された「軟骨伝導」の仕組みを利用した機器も少しずつ開発されています。

今回、軟骨伝導集音器「Otocarti MATE(オトカルティ メイト)」を貸出機器に追加しました。「骨伝導」とことばは似ていますが、音を伝える仕組みは全く異なります。骨伝導は頭蓋骨に振動を伝え、音を内耳に伝える仕組み。軟骨伝導は耳の軟骨の振動により外耳道の中で音が生成され、鼓膜に伝える仕組みで、音の伝わるルートや音質も違います。「Otocarti MATE」

は集音器なので、補聴器ほどの効果は期待できませんが、補聴器と比べて安価であることや使い勝手が良いという利点もあります。センターでの試用・貸出ができますので、ご予約の上、お越しください。

なお、この機器は Daigas(大阪ガス)グループの「小さな灯」運動により、寄贈を受けたものです。この運動は国際障害者年の1981年に始まり、従業員のみなさまが「私たち一人ひとりが身近なことに関心を持ち、地域社会のさまざまな問題の解決に自らの意思で積極的に取り組んでいこう」という趣旨で取り組んでおられるものです。聴覚に関わる機器の寄贈を、と打診をいただき、貸出機器のひとつとしていただきました。大阪ガスグループのみなさま、ありがとうございました。

デフリンピックキャラバンカーが大阪に！

今年11月15日から、いよいよ「東京2025デフリンピック」が開幕します。6月中旬からは、日本の北からと南から東京都をめざすPRキャラバンカーが巡回しています。大阪には9月24日に到着しますが、大阪巡回の最終日、26日(金)に堺市役所交流広場にやってきます。ご都合のつく方はぜひお立ち寄りください。一緒にエールを送りましょう！

日時：2025年9月26日(金)15時～16時

場所：Mina さかい 市民交流広場
(堺市役所前)

※天候により中止の可能性があります。



手話奉仕員・通訳者養成講座

講座は折り返し地点！

手話通訳者養成の講座は、まもなく中間地点です。7月からは入門課程のフォローアップ講座も始まり、順調に進んでいます。また、堺市の手話通訳者として登録するための試験の申込が始まりました。市の登録者が増えてほしいと願っています。

要約筆記者養成講座

要約技術を使った実技を勉強中

8月は夏休みを挟み23日より講座が再開します。実技内容は毎回、少しずつ難しい内容になってきていますが、PCでの要約技術を一緒に楽しく学びましょう！皆さんと元気にお会いできるのを楽しみにしています!!

センター(聴覚)の行事

※行事はすべて事前申込が必要です。

9月11日(木) 14:00~15:30

もじサロン(筆談会)

9月12日(金) 13:30~16:30

補聴器相談

9月20日(土) 14:00~16:15

みみサロン

字幕付き映画体験会

10月9日(木) 11:00~12:30

もじサロン(筆談会)

10月10日(金) 13:30~16:30

補聴器相談

11月1日(土) 14:00~16:00

保護者学習会+こどもの交流会

「きこえないこどもの親として」

ご参加をお待ちしております。

ビデオライブラリーのおすすめ

「silent 6」

想が1人孤独な学生生活を送っていた時、唯一、想のそばで寄り添ってくれていたろう者の奈々。紬と会うようになった想は、しっかりと奈々と向き合うことを決意します。紬も奈々が想にとってどんな存在なのか気になっていました。奈々も想と紬の関係に心が乱れ、3人の思いが交差します。

「デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士

後編『もうひとつの 家族』

荒井尚人は、海馬学園理事長殺人事件の重要参考人である門奈哲郎と対面します。2人いるはずの娘を1人だと言い張る姿を不審に思い真相を追うことに。手塚瑠美が罪に問われることを覚悟の上で門奈を守ろうとしていたことに気づき、過去の事件との関わりを確信した尚人は、何森(いずもり)稔に門奈の居場所を告げましたが…。

頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

実施済み

- 登録者合同研修 6/28/
- 要約筆記者実践研修、要約筆記者実技研修(手書) 7/2
- 手話通訳者実践研修 7/16
- 要約筆記者実技研修(PC) 8/5、手話通訳者実技研修 8/6

- 登録者合同研修 8/28 「日本語の力を伸ばそう」
- 要約筆記者実践研修 9/6 「事例検討」
- 手話通訳者実技研修 9/27 「読み取り通訳」
- 要約筆記者実技研修 9/30 「連係入力に必要なスキル」
- 登録者合同研修 10/18 「防災について(調整中)」

センター(聴覚)のLINE・Instagram

Instagram



@SAKAIJOUTEI

LINE



ご利用ください

きこえる方は
ご連絡ください

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
6月	派遣数	212件	16件	12件	10件	5人	16本
	派遣人数	217人	37人	25人	34人	新規登録者：0人	
7月	派遣数	193件	32件	8件	10件	6人	31本
	派遣人数	197人	69人	17人	35人	新規登録者：1人	

ご協力
ありがとうございました

